

八幡平市道路整備計画

「農 みのり と 輝 ひかり の大地

～次世代に希望をつなぐ八幡平市～」

平成 27 年 2 月策定

令和 8 年●月改定

八幡平市

目 次

1. 八幡平市道路整備計画とは	1
1.1. 計画策定の背景と目的	1
1.2. 計画の位置づけ	2
1.3. SDGsとの関係	3
1.4. 計画策定方針	4
1.5. 計画期間	5
2. 上位計画	6
2.1. 上位・関連計画	6
2.2. 岩手県の上位計画	7
2.3. 本市の上位計画	8
3. 現況の整理	9
3.1. 市の概況	9
3.2. 現況の整理	10
4. 道路整備の目標	14
5. 道路整備方針	15
6. 対象路線の選定	17
7. 整備優先度	18
7.1. 事業の進め方	18
7.2. 整備優先度	19
8. 道路整備計画図	22

1. 八幡平市道路整備計画とは

1.1. 計画策定の背景と目的

平成 17 年 9 月 1 日、旧西根町、松尾村・安代町の 3 町村が合併して八幡平市が誕生し、令和 7 年度で 20 年目を迎えています。

本市の道路整備事業は、これまで主要幹線市道や住民生活に密着した市道について、合併前の計画を受け継ぎ実施してきましたが、合併後課題となっていた幹線などの整備に一定の目処がついたため、新しく整備すべき市道の位置づけを明確にするために、市の管理道路を対象とし、各路線の整備優先度を検討し、より効率的・効果的な事業推進に取り組むための「八幡平市道路整備計画（平成 27 年 2 月）」（計画期間 20 年間）を策定しました。

このたび、計画策定から 10 年が経過し、計画の見直し時期において、社会情勢の変化や新たな道路整備のニーズを踏まえることが求められており、当初計画の後期 10 年間の計画にあたる「八幡平市道路整備計画（改定版）」（以下、「本計画」という）を改定するものとします。

表 1-1 八幡平市内の道路（令和 6 年度末）

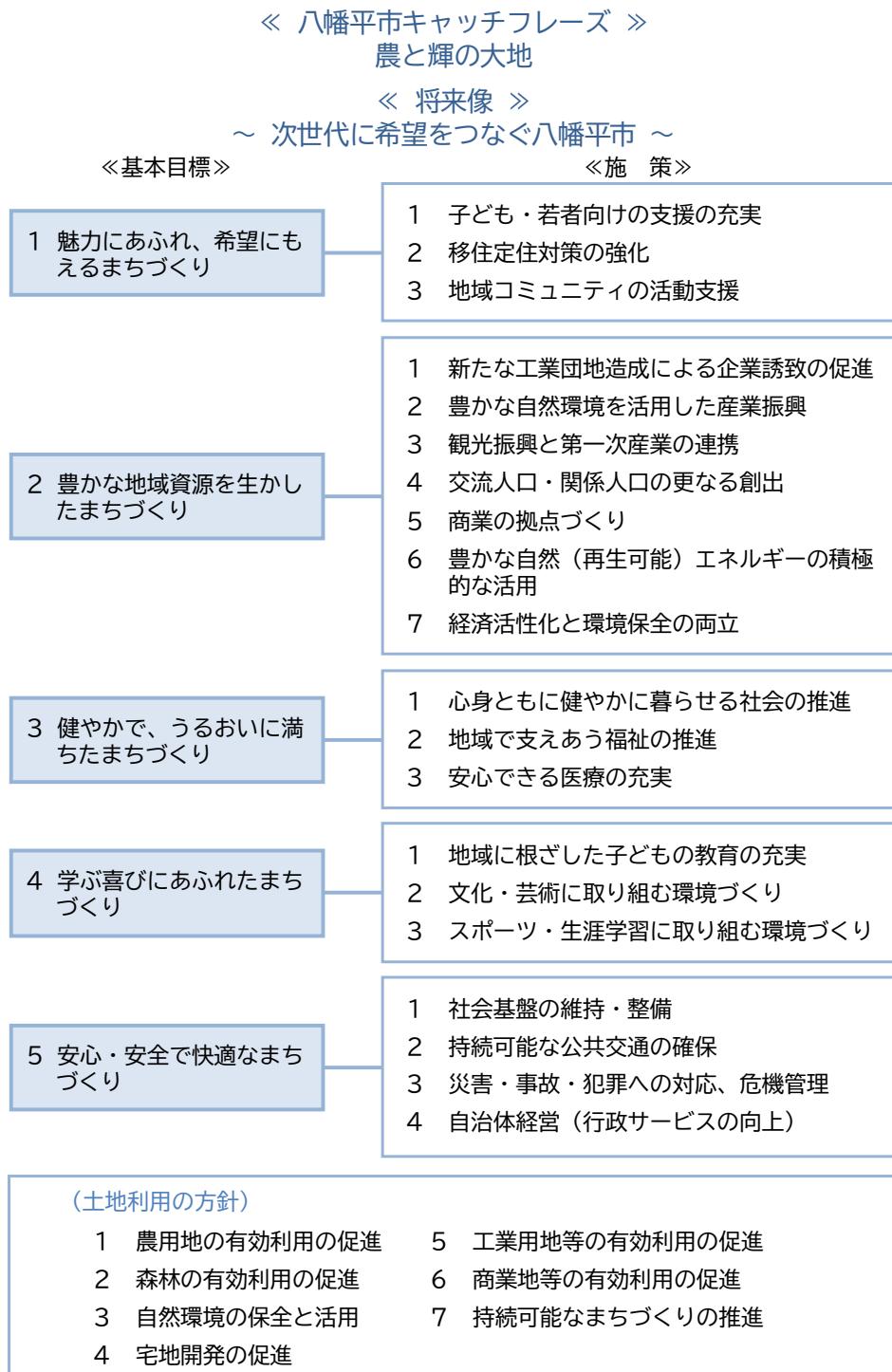
道路種別	整備	管理	路線数	備考
高速道路	NEXCO東日本		2	東北自動車道、八戸自動車道
国道	国	県	2	国道282号、西根バイパス
主要地方道	県 (市)	県	4	二戸五日市線 岩手平館線 大更八幡平線 葛巻日影線
		市	1	柏台松尾線
一般県道	県	県	5	田山花輪線 渋民田頭線 零石東八幡平線 岩手大更線 八幡平公園線
	県 (市)	市	5	田山停車場線 (権限移譲県道) 荒屋新町停車場線 (権限移譲県道) 大更停車場線 (権限移譲県道) 田代平西根線 (権限移譲県道) 焼走り線 (権限移譲県道)
市道	市	市	66 66 874	1級市道 2級市道 その他市道
市管理路線			1,012	
総合計			1,025	

■市管理路線

1.2. 計画の位置づけ

本計画は、「第3次八幡平市総合計画 基本構想」の実現化にあたって、基本目標を支える「安全・安心で快適なまちづくり」として「社会基盤の維持・整備」が位置づけられており、最も身近で住民生活と密着した市道の整備について、各行政計画と整合を図り、市の総合的な計画として展開するための基本的指針となるものです。

本計画により、今後整備すべき市道の位置づけを明確にするとともに、各路線の整備優先度を改めて検討し、道路整備の透明性と効率性を保ちながら、市内の地域間の連携強化を図り、利便性、安全性の向上を図るため今後10年間の整備を進めていきます。



資料：第3次八幡平市総合計画 基本構想

1.3. SDGsとの関係

SDGs（「持続可能な開発目標」）は、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。国連加盟の193か国において2030年度までに達成するものとして、17のゴール（目標）と169のターゲット（具体目標）で構成されています。

この目標は、国だけでなく市町村レベルでも積極的に取り組むことで、少しづつ達成に向かうものです。

この計画に位置づけられた取組を推進することが、住民の生活の質の向上や地方創生、ひいてはSDGsのゴールの達成に寄与するという考え方のもと、SDGsの理念を踏まえた道路整備を推進していきます。



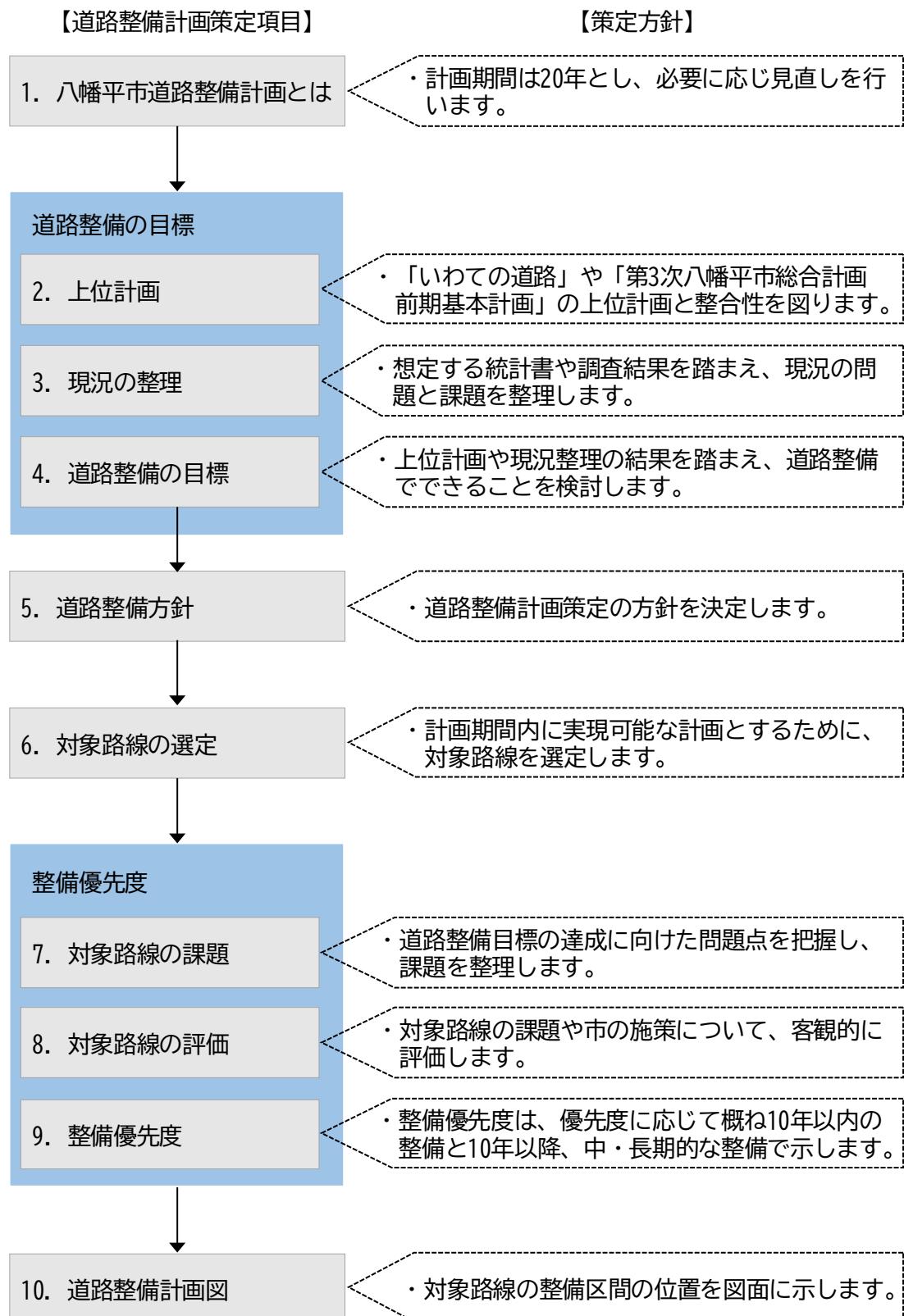
図 1-1 SDGsの17のゴール



図 1-2 道路整備計画で特に関連するゴール

1.4. 計画策定方針

本計画の策定にあたっては、効率的・効果的な道路整備を推進し、課題に対応した整備効果の発現を目指します。本計画策定の流れを次に示します。



1.5. 計画期間

当初計画の計画期間は、平成 27 年度～令和 16 年度の 20 年間であり、本計画はその中間年にあたり整備計画の修正を行うものです。

また、本計画は、社会情勢の変化や道路整備の進捗など、道路整備に関する状況に応じて市総合計画等との整合を図り、前期（平成 27 年度～令和 6 年度）から後期（令和 7 年度～令和 16 年度の 10 年間）への移行時における、整備進捗状況の検証等により計画全体の見直しを行うものです。

なお、道路整備環境に重要な変更が生じた場合など、必要に応じて適宜見直しを行うこともあります。

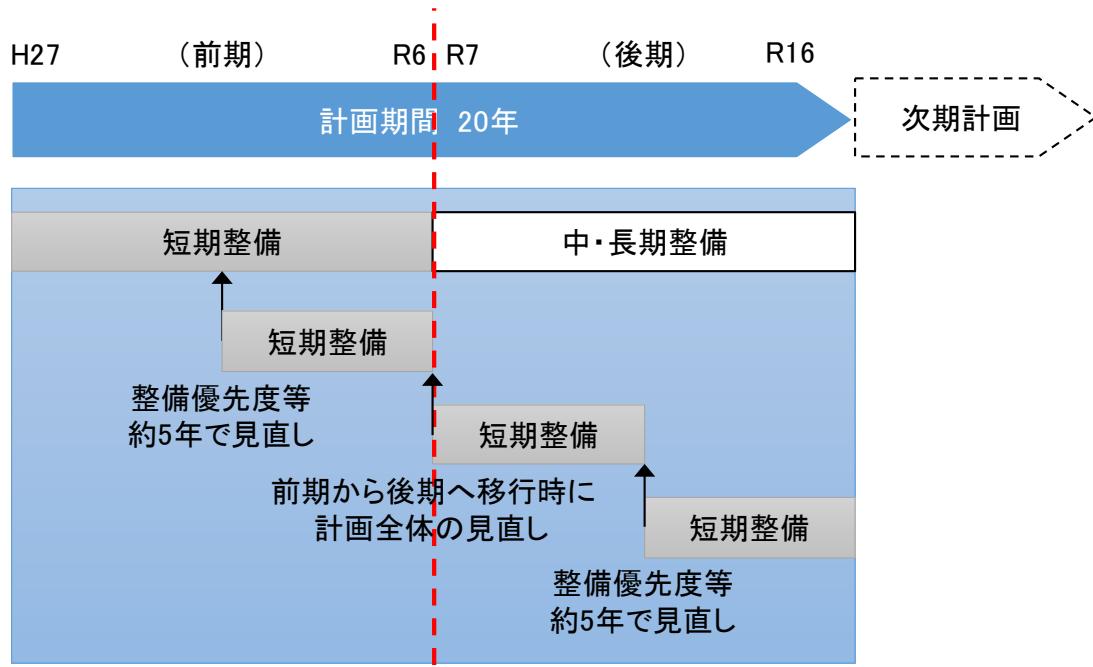


図 1-3 計画期間

2. 上位計画

2.1. 上位・関連計画

道路整備に関わる、国、県、市の上位計画を整理しました。上位・関連計画については、本計画と整合性を図るとともに、本計画の参考とするため、道路の役割や機能について市の状況にあわせた調整を行います。

表 2-1 上位・関連計画

作成主体	計画名称
国の上位計画・関連計画	東北圏広域地方計画
	道路の中期計画
県の上位計画・関連計画	国土利用計画岩手県計画（第五次）
	広域的地域活性化基盤整備計画
	いわての道路
市の上位計画・関連計画	第3次八幡平市総合計画基本構想
	第3次八幡平市総合計画前期基本計画
	第4期八幡平市観光振興計画
	八幡平市過疎地域自立促進計画
	各辺地における総合整備計画
	八幡平市都市計画マスタープラン
	大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画

2.2. 岩手県の上位計画

「いわての道路」は、県の現状・県民の声を踏まえた「みちづくり」の目標を示しており、市の道路整備に参考とすべき計画となっています。このことから、本計画において考慮することとします。

「いわて県民計画」では、「健康・余暇」、「家族・子育て」、「教育」、「居住環境・コミュニティ」、「安全」、「仕事・収入」、「歴史・文化」、「自然環境」と、これらの分野を下支えする共通的土台としての「社会基盤」、「参画」を加えた10の政策分野を設定しており、「いわての道路」においては道路整備などの社会基盤について、3つの政策項目（安全・安心、維持管理、産業・観光）における様々な計画・施策を展開するとしています。



図 2-1 いわての道路における政策項目

2.3. 本市の上位計画

「第3次八幡平市総合計画 基本構想」は、市の総合的な計画として道路整備に関する施策が具体的に示されており、市の道路整備と密接に関係する計画です。このことから、本計画において考慮することとします。

基本構想の将来像の実現に向けて、「この豊かで恵まれた資源を活かし、働く場の創出を図るとともに、市民一人ひとりが安全・安心に暮らすことのできるまちづくりに努め、これからも喜びや幸せを感じることができる、心豊かで心身ともにうるおいを感じるまちを目指す」ほか、「豊かで恵まれた資源をより一層活用し、生まれ育った人、今住んでいる人がこれからも住み続けたいと思えるまち、多くの人に八幡平市に訪れていただき、訪れる喜びを感じ、心のふるさと、第2のふるさととして将来にわたり八幡平市と関係を持ち、移り住んでみたいと思ってもらえるまちを目指す」とされています。

特に、社会基盤の維持・整備においては、「既存道路網の適正な維持管理などにより、道路機能を確保するとともに、冬期間の交通に支障が無いように除雪体制の充実を図り、上水道網、公共下水道、浄化槽などの環境整備も計画的に推進する」とされています。

3. 現況の整理

3.1. 市の概況

本市は、県都盛岡市の北西約30kmに位置し、南北約45km、東西約25kmで、面積は約862km²あり、県土面積の約6%を占めています。

古くから、秋田県や青森県に通じる鹿角街道が縦貫し、現在では東北自動車道・八戸自動車道と国道282号、さらにはJR花輪線により基礎的な交通基盤が整った地域となっています。気候は、南東部が太平洋側気候、北西部は日本海側気候の影響を受け、真冬の寒暖の差が大きく、夏の降水量は比較的少ないものの、冬の降雪量の多い地域となっています。

市道や道路網は主に国道282号を起点に広がり、田山、荒屋新町、細野、松尾、平館、大更地区を中心に配置されており、特に市の南部の松尾、平館、大更地区の道路密度が高くなっています。



図 3-1 市道配置図

3.2. 現況の整理

各種統計資料を用い、市の現況から道路整備に関する問題・課題を整理しました。課題を解決するためには道路整備でできることを検討し、道路整備目標を設定します。

【自然現況について】

- ・各種統計資料を用い、経年的なデータを整理しました。
- ・土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、岩手山火山防災マップ及び道路台帳を用いて、それぞれの危険個所を把握しました。

【社会経済現状について】

- ・各種統計資料を用い、経年的なデータを整理しました。
- ・市管内図等をもとに、集落や公共施設、工業団地や観光施設等の位置を整理し、施設配置図を作成しました。

【道路現況について】

- ・施設配置図と道路網図を重ね合わせ、道路のネットワークや施設間の連携及び集落の利便性について問題・課題を整理しました。
- ・道路台帳と現地確認により、道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な区間や歩道が設置されていない区間等、道路構造の問題点を把握しました。

【交通現況について】

- ・交通現況について、道路交通センサスのデータに加え、交通量調査を実施し、主要な市道の交通量を把握しました。
- ・交通事故発生状況について、公安委員会から聞き取り調査を実施し、事故の発生回数を整理するとともに、事故発生地点を道路網図に整理し、指導について交通安全の対策箇所を把握しました。
- ・管内図、道路台帳図、バス路線図及び施設配置図から、交通の問題となる箇所を把握しました。

■概況

- ・岩手県の総面積の約 6% となる広大な面積を占めています。
- ・今後、人口、世帯数ともに、減少が続くことが予想されています。
- ・道路は東北自動車道、八戸自動車道、国道 282 号のほか、主要地方道 5 路線、一般県道 10 路線、市道 1006 路線があります。そのうち都市計画道路は、7 路線です。

問題・課題

広大な市域を連携する、国・県道とのアクセス性や市道の整備が重要です。市道は、国・県道を起点に広がり、ネットワークが形成されていますが、幅員が狭いなど、通行に支障をきたしている路線があるため、整備が必要です。

今後は人口減少による地域活力の低下が懸念されており、市内の拠点間の連携や集落における移動性を向上させる道路整備が求められています。

課題まとめ

- ・社会基盤としての道路整備
- ・国・県道とのアクセス性を向上する道路整備
- ・域内連携を強化する道路整備
- ・都市計画道路の整備

■産業動向

- ・人口減少、少子高齢化に伴い、就業人口全体が減少傾向にありますが、第 3 次産業従事者は約半数を占め、微増しています。
- ・農業粗生産額については減少傾向にありましたが近年増加傾向にあります。年間商品販売額については横ばい傾向であり、製造品出荷額等につきましては、コロナ禍を経て近年上昇しています。
- ・十和田八幡平国立公園の南に位置する八幡平や安比高原等には観光施設が多く、活用が期待されています。東北縦貫自動車道（松尾八幡平 IC～安代 IC 間）にスマートインターチェンジが開通予定であり、安比高原エリアへの観光客の利便性の向上が期待されています。

問題・課題

産業支援として、工業団地と幹線道路を結ぶ輸送路としての道路幅員の確保やアクセス性を向上させる道路整備が課題です。あわせて、就業者の通勤利便性の向上が求められています。

また、産業構造が第 3 次産業へシフトしていることから、大更まちづくり計画を契機とした賑わいの創出や、スマートインターチェンジの開通に伴い観光施設が多い八幡平などへの移動利便性の向上、観光施設間の連携等が求められています。

課題まとめ

- ・産業全体の活性化
- ・通勤利便性の向上
- ・賑わいの創出
- ・観光施設間の交流利便性向上

■生活交通

- ・盛岡市などの市外への通勤・通学流動の占める割合が増加傾向にあります。
- ・人口は西根地区と国道282号等の幹線道路を中心に分布しています。
- ・国道282号沿いの大型商業施設や医療機関は西根地区に多く立地しています。
- ・コミュニティバス路線の一部において、バスのすれ違いに必要な幅員が確保されていない区間があります。

問題・課題

市外への通勤・通学の利便性を向上させるため、駅周辺のアクセス路線の整備が必要となっています。また、商業施設や医療施設等は西根地区に多く立地しているため、安代地区や松尾地区から移動して利用するための、住民生活に密着した道路整備が課題です。

なお、国道282号の荒屋新町地区において、冬期の高速道路の通行止めに伴う渋滞等が発生し、う回路となる路線の整備が課題です。

また、車に乗らない人に対するバスや鉄道の公共交通機関利用方策が必要です。

課題まとめ

- ・施設の利用しやすさの向上
- ・移動利便性向上
- ・公共交通の充実

■自然災害

- ・冬期の積雪量が多いいため、堆雪により道路幅員が減少し、車両のすれ違い困難や歩行者が車道を歩行しなければならない等、危険な状況の箇所が見られます。
- ・土砂災害危険区域や土砂災害特別警戒区域があります。岩手山噴火に対しては、避難や避難準備等の住民がとるべき行動を知らせる警戒レベルが設定されています。
- ・避難施設である公民館や避難所までのアクセス道路の幅員が狭い箇所があります。

問題・課題

堆雪帯が十分でないことから、冬期の道路幅員の確保が求められています。

土砂災害、岩手山噴火に対する危険箇所に対しては、危険を知らせるための標識を設置する等、ソフト対策の検討が必要です。また、災害時に避難施設へアクセスする集落のメイン路線の整備が必要です。

課題まとめ

- ・冬期交通の安全確保
- ・災害防止対策による安全確保

■交通安全

- ・主要な市道における交通量は、すべて 5,000 台/日以下となっています。
- ・歩行者の多い駅周辺、商店街や市街地などに歩道が少ない状況です。
- ・通学路安全対策において、整備が必要と判断されている通学路があります。
- ・今後、スマートインターチェンジの開通やハロウインターナショナルスクール安比ジャパンの開校により、新たな拠点が形成され、人や車の新たな移動が想定されます。

問題・課題

交通量による渋滞発生等の問題がある路線はありませんが、交通事故発生地点では事故対策としての道路整備が必要となっています。通学路の安全確保から、歩道整備が求められています。

課題まとめ

- ・交通事故対策による安全確保
- ・通学路の安全確保
- ・歩道整備による歩行者の安全確保

■高齢者

- ・高齢化が深刻な状況となっています。
- ・高齢化により車を運転できなくなる方も多くいるため、公共交通が必要とされています。
- ・高齢者が多く利用する医療施設の周辺部において、歩道が設置されていない路線があります。

問題・課題

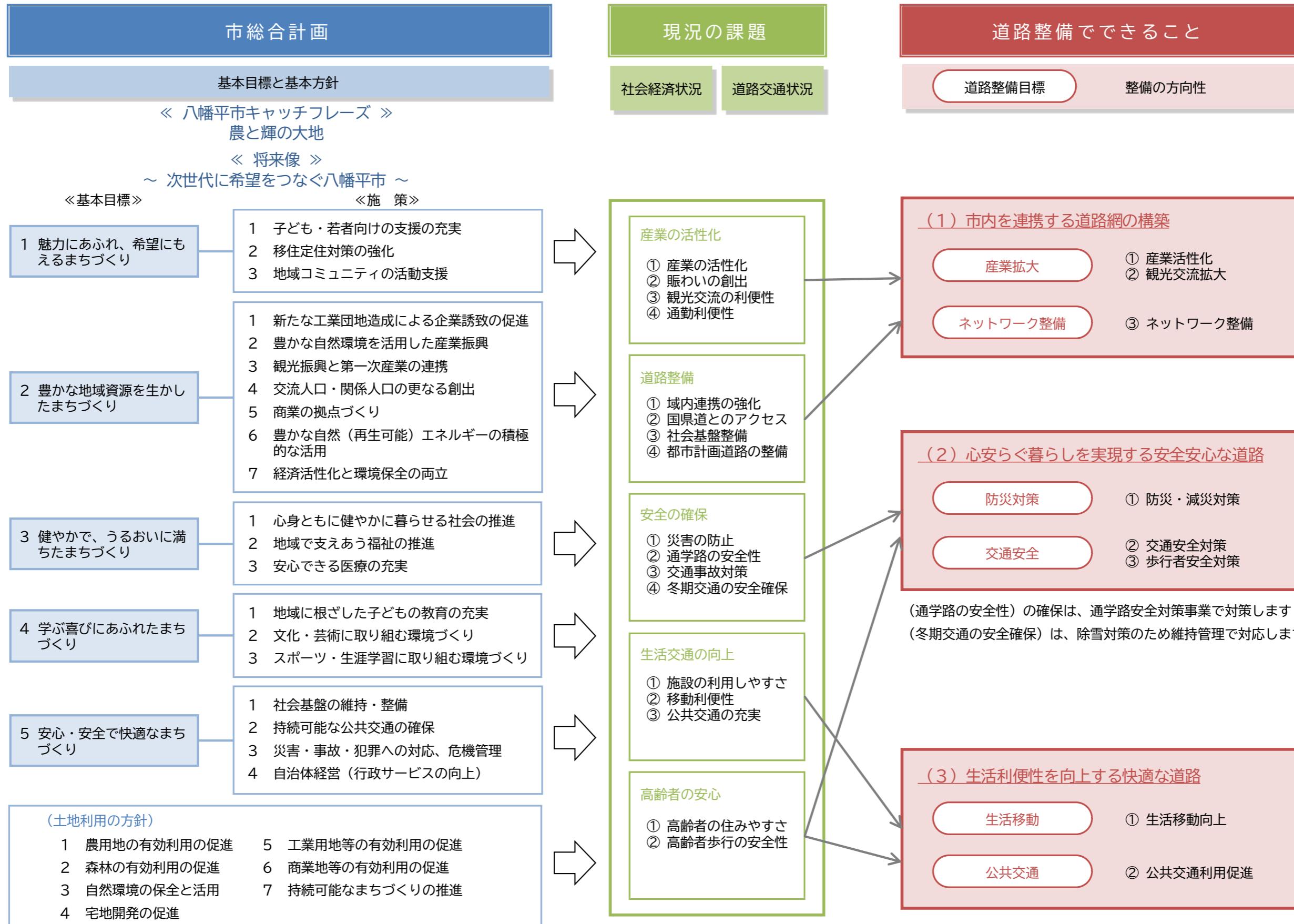
高齢者が住みやすいまちづくり、高齢者が安心して歩ける歩道整備が求められています。また、高齢化を踏まえて、バスや鉄道の公共交通機関利用方策が必要となっています。

課題まとめ

- ・公共交通の支援による高齢者の安心確保
- ・歩行の安全性の確保による高齢者の安心確保

4. 道路整備の目標

県の計画を参考にしながら市の総合計画をもとに現況結果を整理し、道路整備でできることを検討し、本計画の目標を設定しました。



5. 道路整備方針

本計画では、市が管理する 1,012 路線について以下の分類に応じた対応を行います。

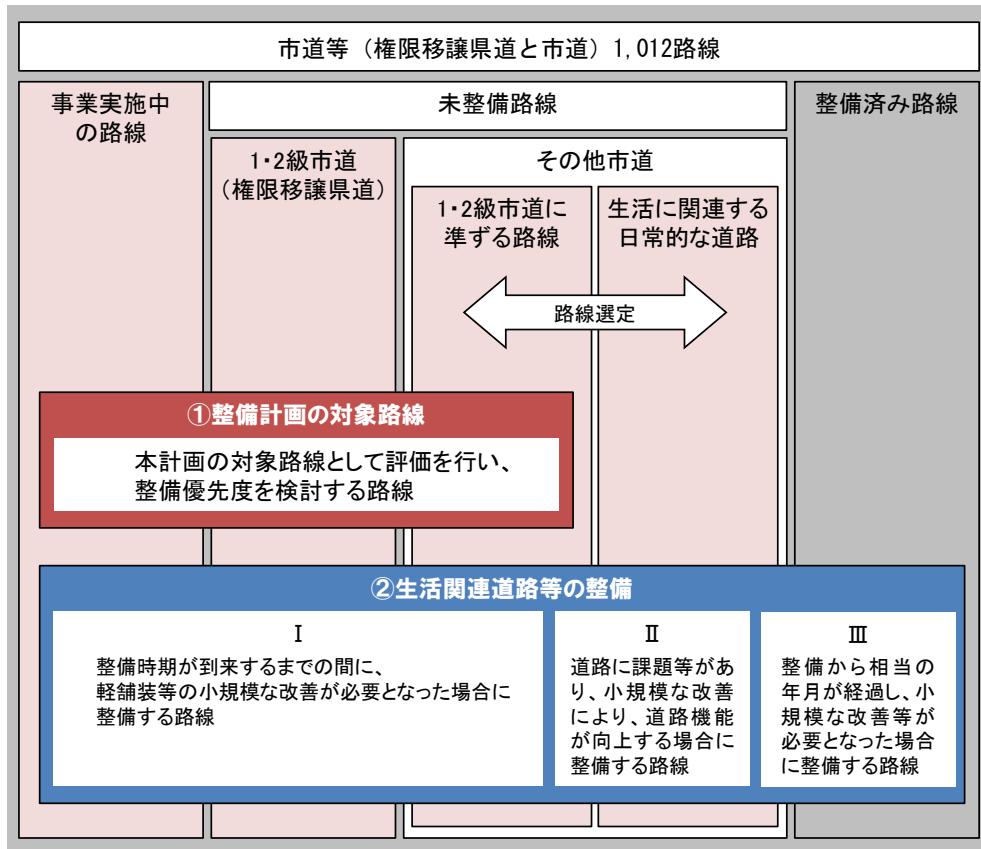


図 5-1 市道の分類

【分類した路線の説明】

- ◇事業実施中の路線
- ◇1・2 級市道
- ◇権限移譲県道
- ◇1・2 級市道に準ずる路線
- ◇生活に関連する日常的な道路
- ◇整備済み路線

【市道認定の説明】

- ◇1 級市道 都市計画決定された幹線街路や主要集落（戸数 50 戸以上）間、主要交通流通施設・主要公共的施設等・主要観光地の相互間を連絡及び国道・県道・幹線 1 級市道を連絡する道路
- ◇2 級市道 都市計画決定された補助幹線街路や集落（戸数 25 戸以上）間、主要交通流通施設・主要公共的施設等の連絡及び国道・県道・幹線 1 級市道を連絡する道路
- ◇その他市道 1・2 級に該当しない市道

(1) 整備計画の対象路線について

対象路線の選定にあたり、図 5-1 のとおり、市道を分類しました。市の管理する市道等は 1,012 路線（令和 6 年度末）であることから、市の道路予算や整備計画の計画期間を考慮し、重点的に整備を行う路線を選定します。

選定された対象路線は、今後、有効な国の補助事業等を活用し、道路構造令等に基づき、拡幅改良舗装、歩道設置などの道路機能を向上させる整備を進めていきます。

なお、選定されない路線について、必要に応じて次項の生活関連道路等の整備として、対応を検討します。

(2) 生活関連道路等の整備について

生活関連道路等の整備については、比較的小規模（局所的・部分的）な範囲の改良等により、道路機能を改善・向上させることができ、効率的、効果的に住民要望に応えられるものについては、市道等改修事業での整備を実施します。

6. 対象路線の選定

本計画の対象路線は、本市が管理する市道等 1,012 路線のうち、権限移譲を受けた県道、1・2 級市道及び以下の選定方法により選定したその他市道のうち、現行整備計画における対象路線から、整備済み路線及び整備の必要性の低下した路線を除き、近年の社会情勢等から新たに整備必要となった路線を加えた 67 路線を対象とします。

【現行整備計画対象路線】

- ・事業実施中の路線
- ・権限移譲県道、1・2 級市道
- ・1・2 級市道に準じる路線（その他市道から選定）

【その他市道の選定方法】

- ・集落内等の生活に密着した重要な生活路線の位置づけから 4 つの視点を設定し、その選定基準に 1 つ以上該当する路線を選定

- ①コミュニティ活動の視点 (選定基準：集落内のメイン道路である)
- ②安心の視点 (選定基準：避難所等へのアクセス路線である)
- ③住民意向反映の視点 (選定基準：整備要望がある)
- ④まちづくりの視点 (選定基準：関連計画※がある)

※1：整備要望のうち、軽舗装の要望は維持管理で対応するため対象外

※2：

- ・市総合計画・前期基本計画主要事業
- ・大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画
- ・通学路安全対策に位置づけられている路線

↓

67 路線（短期整備 18 路線、中・長期整備 49 路線）

↓

67 路線（本計画の対象路線）

対象路線から除外

- ・整備済み路線（19 路線）

新たに追加

- ・社会情勢の変化等により新たな道路整備が必要となった路線（15 路線）

7. 整備優先度

7.1. 事業の進め方

(1) 市の道路予算について

本計画に関する費用は、主に土木費における道路橋りょう費のうち、道路橋りょう新設改良費が当てられます。

平成 27 年度から令和 6 年度までの平均事業費は約 4.03 億円ですが、近年減少傾向であり、令和 6 年度には約 2.27 億円となっています。

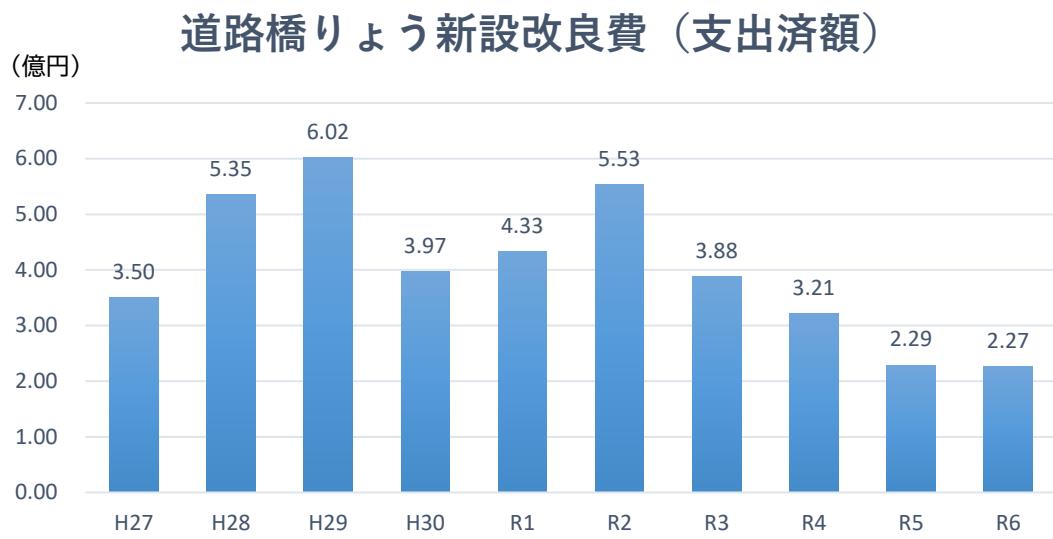


図 7-1 道路橋りょう新設改良費の推移

(2) 事業費について

当初計画における事業費は、年間 3.5 億円程度を見込んでおり、本計画においても道路整備に係る事業費は、物価や資材、人件費等の高騰を考慮し、年間 4.5 億円程度を目標に必要に応じて事業量を調整していくものとします。

(3) 整備時期について

整備グループは、市の道路予算を鑑み、概ね 10 年以内の事業着手を見込むグループと、それ以外の整備時期とするグループとし、道路事業予算との兼ね合いや整備進捗状況、災害など道路整備に影響を及ぼす事態等により変化することが想定されることから、状況の変化に応じて見直しを行います。

7.2. 整備優先度

概ね10年以内に優先的に整備を進めていく路線

No	級数	路線番号	種別	関連路線	整備予定事業量 (m)	地区	整備予定事業種別	前期計画	新規	事由	進捗
1	1級	11003	山子沢線		164	西根	歩道整備	A	-		着手
2	1級	11025	堀切東線		1,564	西根	拡幅改良	A	-		着手
3	1級	31001	安比線		1,850	安代	歩道整備	-	新規		着手
4	1級	31003	星沢前森山線	33254 SIC上り線、33255 SIC下り線	899	安代	歩道整備	-	新規	スマートインターチェンジ開通に伴う歩道整備	未着手
5	2級	12005	松森山後谷地線		300	西根	拡幅改良	A	-		着手
6	2級	12015	中台線		430	西根	拡幅改良、歩道設置	A	-		着手
7	2級	12018	樋沢線	橋梁工事（県代行事業）	460	西根	一部拡幅改良	-	新規	橋梁工事（県代行）の完了に伴う一部拡幅改良	着手
8	その他	13028	松子線	13024 大目野1号線、13068 愛宕下線	730	西根	拡幅改良、歩道設置	A	-		未着手
9	その他	13045	森合線	11008 中渡線、13074 中森線	328	西根	拡幅改良、歩道整備	A	-		着手
10	その他	13092	十二林線		235	西根	拡幅改良	A	-		着手
11	その他	13271	大更駅東線		320	西根	拡幅改良、歩道設置	A	-		着手
12	その他	23082	永持1号線	23314 永持1号支線	1,010	松尾	拡幅改良、歩道設置	-	新規	圃場整備に伴う道路整備	着手
13	その他	23314	永持1号支線	23082 永持1号（新設踏切含む）	297	松尾	拡幅改良、歩道設置	-	新規	圃場整備に伴う道路整備	着手
14	その他	23315	南北支線	21013 南北線	480	松尾	拡幅改良	-	新規	圃場整備に伴う道路整備	着手
15	その他	33052	鴨志田線	33249 白山呪田支線、33202 向久保高畠線、32006 軽井沢高畠線、33201 寺志田線、32005 桜松線、33055 高畠小柳田線、33054 高畠線、33199 高畠裏線、33251 鴨志田支線	3,752	安代	拡幅改良	A	-		着手
16	その他	33146	沢口線		400	安代	流雪溝整備	-	新規	R7.9.30に説明会を行った結果、流雪溝整備後の組織化や維持管理等が可能とのことから、今後事業を進めていく。	着手
17	その他	33254	スマートインターチェンジ上り線	31003 星沢前森山線（拡幅改良含む）	254	安代	新設道路整備（SIC接続）	-	新規	スマートインターチェンジ開通に伴うアクセス路線	着手
18	その他	33255	スマートインターチェンジ下り線	31003 星沢前森山線（拡幅改良含む）	458	安代	新設道路整備（SIC接続）	-	新規	スマートインターチェンジ開通に伴うアクセス路線	着手

【事業種別の説明】

- 拡幅改良 ・・・ 幅員が狭い路線について、道路構造令基準により拡幅改良を行うもの
- 拡幅改良（橋梁工事） ・・・ 橋梁工事とあわせて幅員が狭い路線について、道路構造令基準により拡幅改良を行うもの
- 現道利用拡幅 ・・・ 改良舗装済みの現道幅員が狭いため、現道の拡幅を行うもの
- 歩道設置 ・・・ 車道と歩道を物理的に分離し、歩道を設けるもの
- 歩行空間整備 ・・・ 路肩の拡幅や堆雪帯の整備により、路肩部に歩行できる空間を設けるもの
- 待避所設置 ・・・ 幅員が狭くすれ違いに支障がある区間に待避所を設置するもの
- 堆雪帯設置 ・・・ 除雪により幅員が狭くなる区間にについて、現道を活かし堆雪帯を設置するもの
- 都市計画街路整備 ・・・ 都市計画決定されている路線で整備の際、街路事業にて行うもの
- 橋梁整備（長寿命化） ・・・ 現況橋梁の長寿命化修繕工事とあわせて、前後に取付道路を整備するもの
- 交差点改良 ・・・ 交差点などの問題がある交差点を、正十字路化に改良を行うもの
- 舗装補修 ・・・ 現道の舗装を補修するもの
- 新設道路整備 ・・・ 新しく道路を整備するもの
- 流雪溝整備 ・・・ 路肩の雪を排雪するための流雪溝を整備するもの
- 横断涵渠 ・・・ 道路の下を水が流れるようにするための水路を整備するもの
- 側溝 ・・・ 道路の排水を流すための水路を整備するもの

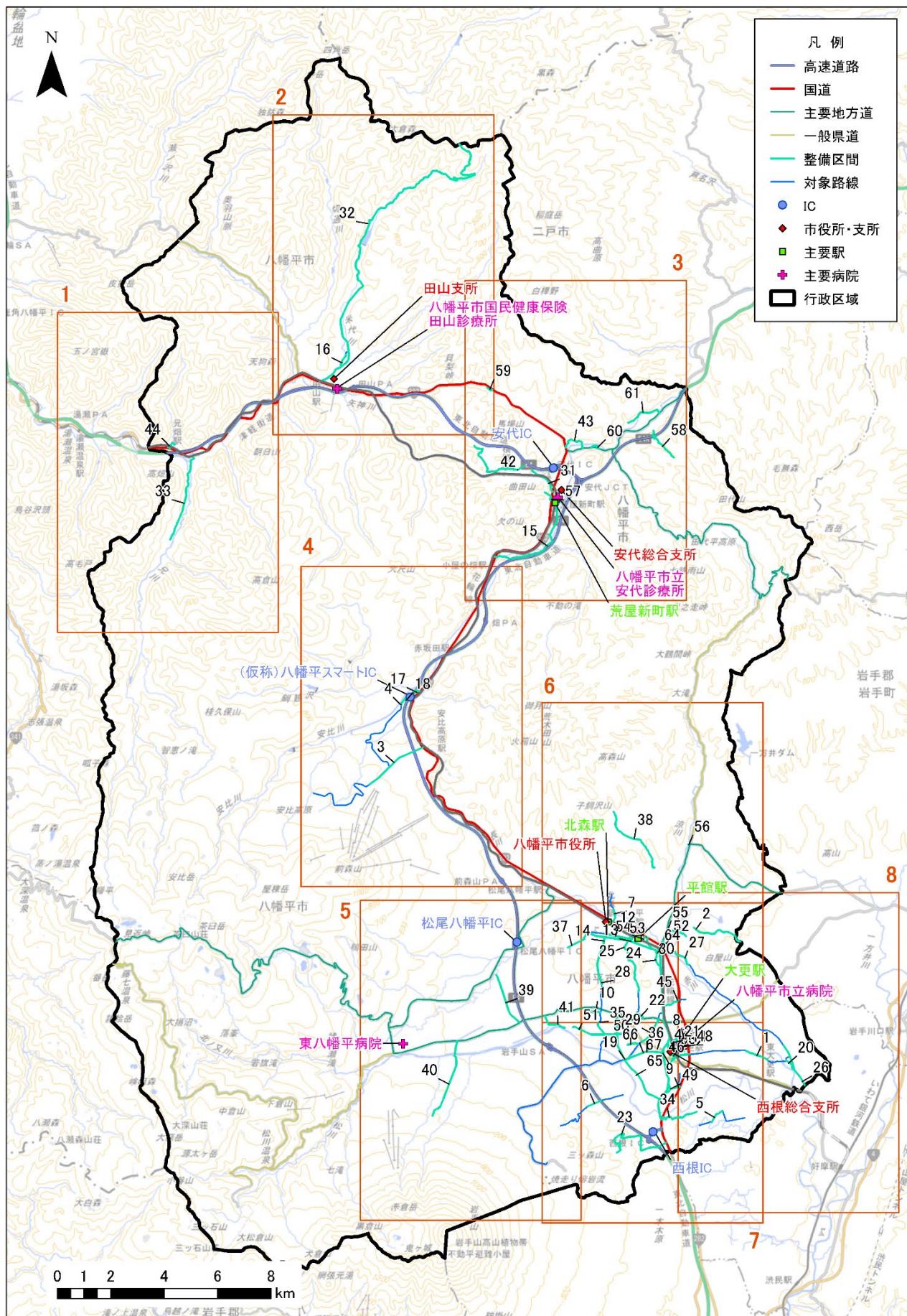
10年後以降、中・長期的に整備を進めていく路線

No	級数	路線番号	種別	関連路線	整備予定事業量 (m)	地区	整備予定事業種別	前期計画	新規	事由 (次期整備計画の策定に向けた課題について記載)	進捗
19	権限移譲	42233	県道焼走り線	11019 新館掘割線、12013 薬師線	400	西根	交差点改良、一部改良	A	-	都市計画道路上町薬師線の改良に併せて検討が必要。	着手
20	1級	11002	大石平線		500	西根	拡幅改良	B	-	交通量の減少に伴う整備効果の検証が必要。	未着手
21	1級	11007	鉱山線		250	西根	拡幅改良、歩道整備	A	-	旧国道から大更駅までの区間の改良については、市道松子線の整備進捗に併せて検討が必要。	未着手
22	1級	11013	間羽松瀬ノ畠線		540	西根	拡幅改良	B	-		未着手
23	1級	11019	いこいの村線		300	西根	拡幅改良	B	-		未着手
24	1級	11023	新山線		650	西根	歩行空間整備	B	-		未着手
25	1級	11028	森新弥徳兵衛線		720	西根	拡幅改良	B	-		未着手
26	1級	11031	渋川大石平線		1,200	西根	歩行空間整備	A	-	東大更小学校の廃校に伴い、歩道整備の必要性について検討が必要。	未着手
27	1級	11032	渋川堀切線		828	西根	歩道設置	A	-	渋川小学校の廃校に伴い、歩道整備の必要性について検討が必要。	着手
28	1級	11033	中田野駄森線		1,460	西根 松尾	拡幅改良、歩道設置	A	-	市道南北支線の整備進捗に併せて検討が必要。	着手
29	1級	11036	北切線		270	西根	拡幅改良、歩道整備	A	-	一部未施工箇所があるが、中学校の統合計画に併せた検討が必要。	着手
30	1級	11039	平館線	JR花輪線踏切改良	222	西根	拡幅改良、歩道設置	-	新規	踏切改良の計画に併せた検討が必要。	未着手
31	1級	31005	清水曲田線		700	安代	堆雪帯設置、待避所設置	B	-		未着手
32	1級	31008	田山線		2,400	安代	堆雪帯設置、待避所設置	B	-		未着手
33	1級	31011	兄川線		800	安代	拡幅改良	B	-		未着手
34	2級	12004	松森線		900	西根	拡幅改良	B	-		未着手
35	2級	12009	横断線		570	西根	拡幅改良、歩道設置	B	-		未着手
36	2級	12012	上町朝日線	都市計画道路上町薬師線	1,360	西根	都市計画街路整備	B	-		未着手
37	2級	12021	砂田永持線		2,400	西根 松尾	拡幅改良	B	-		未着手
38	2級	12027	館沢線		860	西根	拡幅改良	B	-		未着手
39	2級	22007	平中線		2,100	松尾	拡幅改良	B	-		未着手
40	2級	22013	刈屋線		1,000	松尾	拡幅改良	B	-		未着手
41	2級	22014	関口若林線		1,020	松尾	歩道設置	A	-	交通安全対策としての歩道整備については、小中学校の統合計画に併せた検討が必要。	着手
42	2級	32008	横間線	33081 横間裏線	650	安代	拡幅改良	B	-		未着手
43	2級	32013	五日市川原線		1,080	安代	拡幅改良	B	-		未着手
44	2級	32020	兄畠線		450	安代	拡幅改良	B	-		未着手

10年後以降、中・長期的に整備を進めていく路線

No	級数	路線番号	種別	関連路線	整備予定事業量 (m)	地区	整備予定事業種別	前期計画	新規	事由 (次期整備計画の策定に向けた課題について記載)	進捗
45	その他	13001	久保田線		660	西根	歩行空間整備	A	-	運動公園脇の市道であるが、歩行者及び交通量の減少に伴い、歩道整備の必要性について検討が必要。	未着手
46	その他	13030	畠中線		280	西根	歩行空間整備、待避所設置	B	-		未着手
47	その他	13031	大更駅前支線	42191 県道大更停車場線	0	西根	排水構造物更新、一部改良	-	新規	住宅密集地区の道路であり、整備方法の検討が必要。	未着手
48	その他	13067	赤森松子線		510	西根	拡幅改良、歩道設置	B	-		未着手
49	その他	13073	大松線		210	西根	拡幅改良	B	-		未着手
50	その他	13103	寺道線	13104 森腰線	200	西根	交差点改良	B	-		未着手
51	その他	13107	曾根線	23124 蒼前2号線	1,500	西根 松尾	拡幅改良	B	-		未着手
52	その他	13161	山崎線		500	西根	歩行空間整備	A	-	西根第一中学校及び平館小学校への通学路ではあるが、小中学校の統合計画に併せた検討が必要。	着手
53	その他	13170	鷺ノ巣西線		190	西根	拡幅改良	B	-		未着手
54	その他	13173	平館駅前東線		100	西根	拡幅改良	B	-		未着手
55	その他	13178	堀切西線		480	西根	歩行空間整備、待避所設置	B	-		未着手
56	その他	13217	お寺2号線		70	西根	橋梁整備（長寿命化）	B	-		未着手
57	その他	33062	神沢線		400	安代	拡幅改良	B	-		未着手
58	その他	33097	関沢線		330	安代	拡幅改良	B	-		未着手
59	その他	33109	戸沢線		240	安代	拡幅改良	B	-		未着手
60	その他	33213	日影線		400	安代	拡幅改良	B	-		未着手
61	その他	33248	岩屋岩木線		580	安代	拡幅改良	B	-		未着手
62	その他	-	大更駅西口駅前広場	11035 大更駅前線	1	西根	融雪装置機器設置	B	-		着手
63	その他		大更南線（仮称）		180	西根	新設道路整備（新設拡幅改良）	A	-	大更駅停車場線と山子沢線を結ぶ計画だが、大更駅周辺整備による交通動態の変化を検証し整備の必要性について検討が必要。	未着手
64	都市計画道路	-	都市計画道路松川平館駅前線		7,260	西根	都市計画道路	-	新規		未着手
65	都市計画道路	-	都市計画道路松川中村線		3,770	西根	都市計画道路	-	新規		未着手
66	都市計画道路	-	都市計画道路上町薬師線		1,480	西根	都市計画道路	-	新規		未着手
67	都市計画道路	-	都市計画道路両沼下町線		1,480	西根	都市計画道路	-	新規		未着手

8. 道路整備計画図



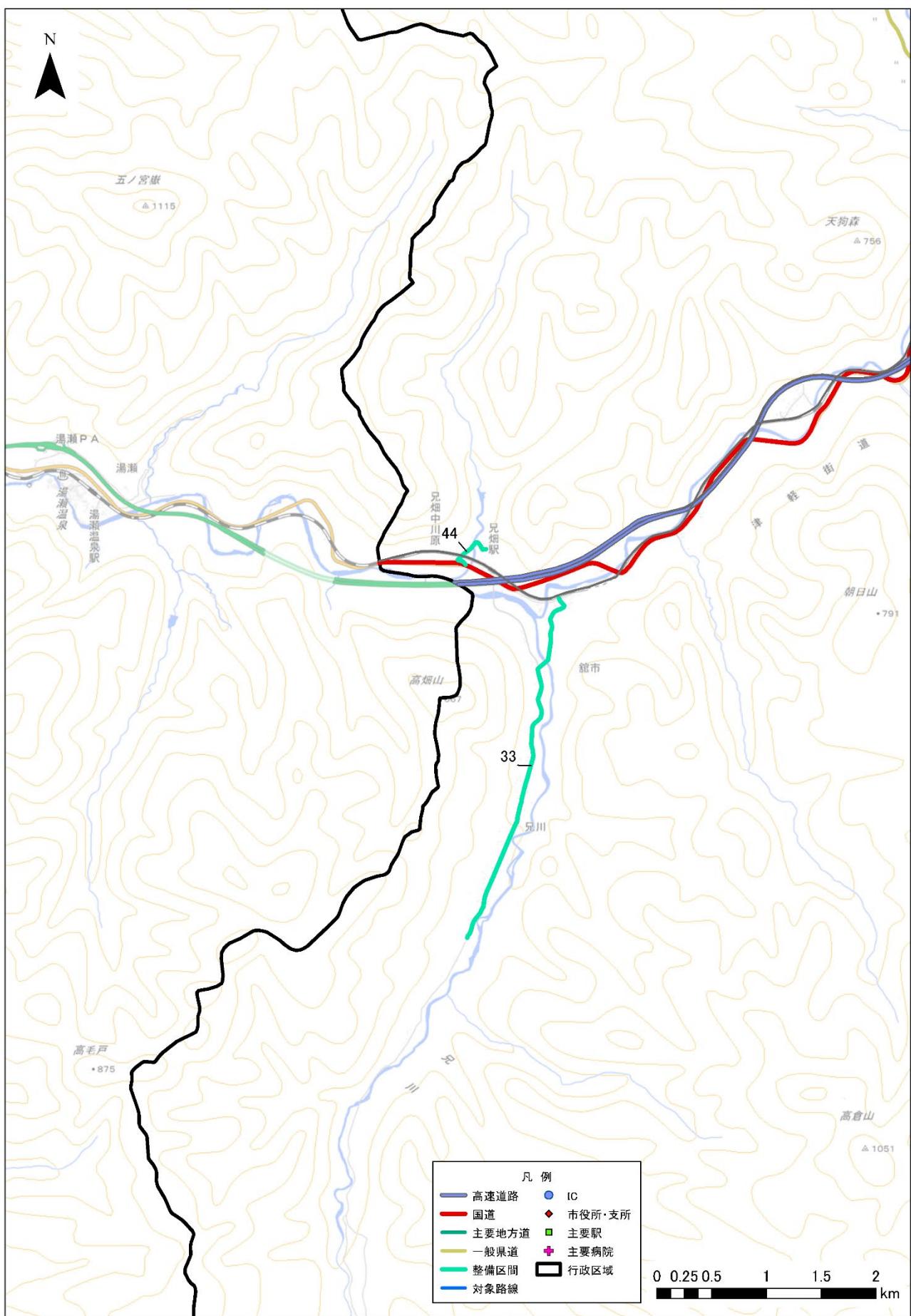


図 8-1 拡大図① (安代地区)

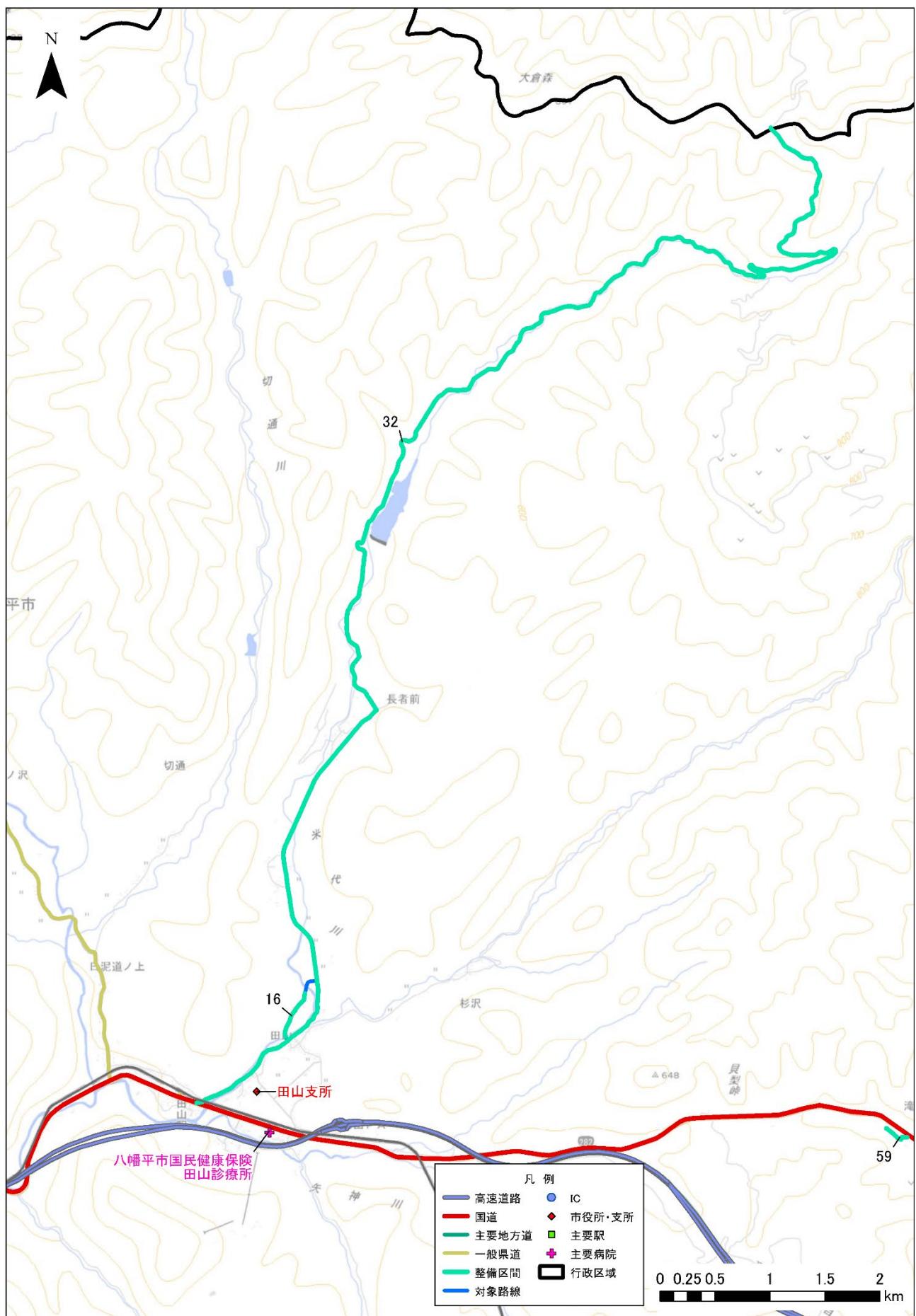


図 8-2 拡大図② (安代地区)

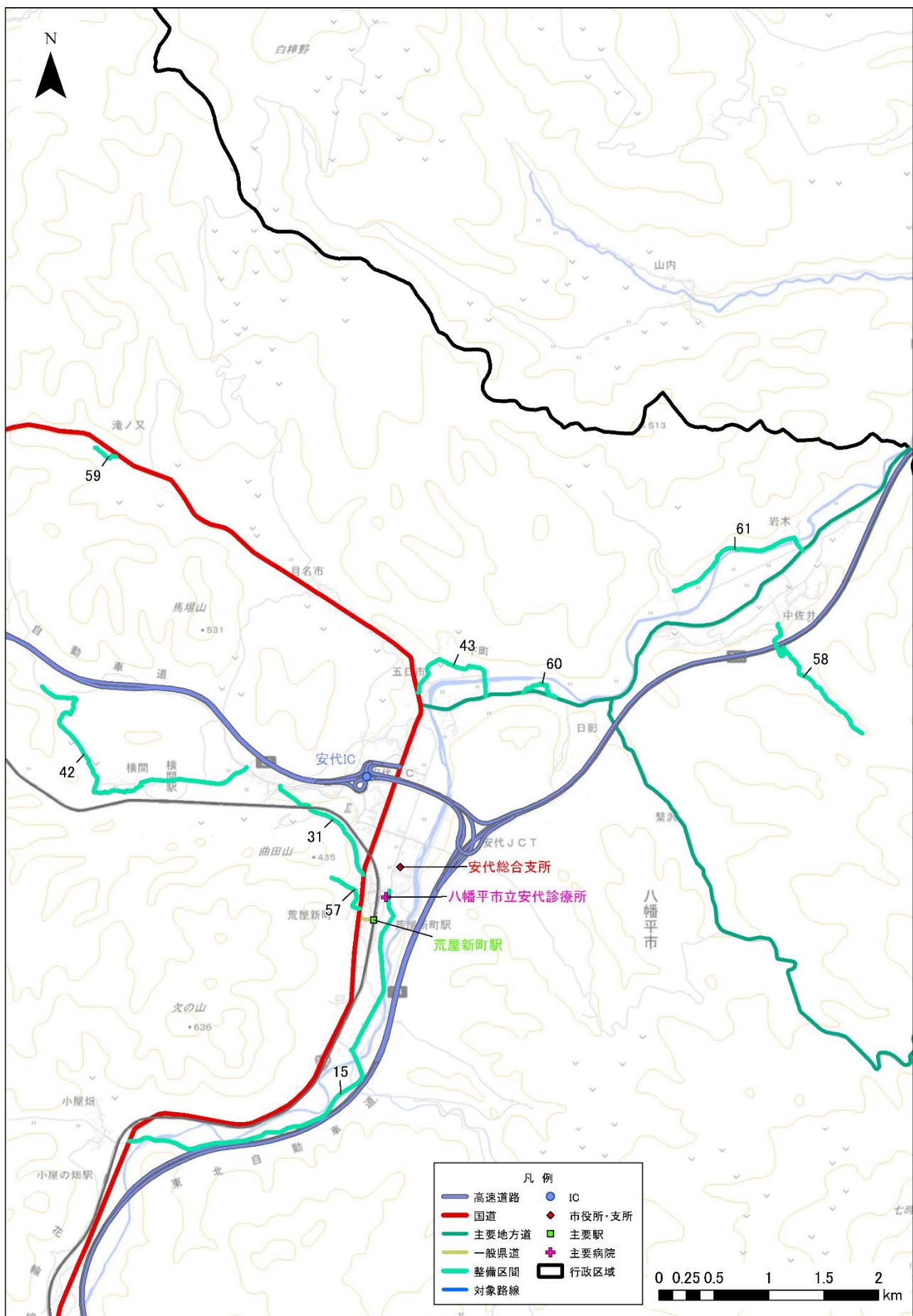


図 8-3 拡大図③ (安代地区)

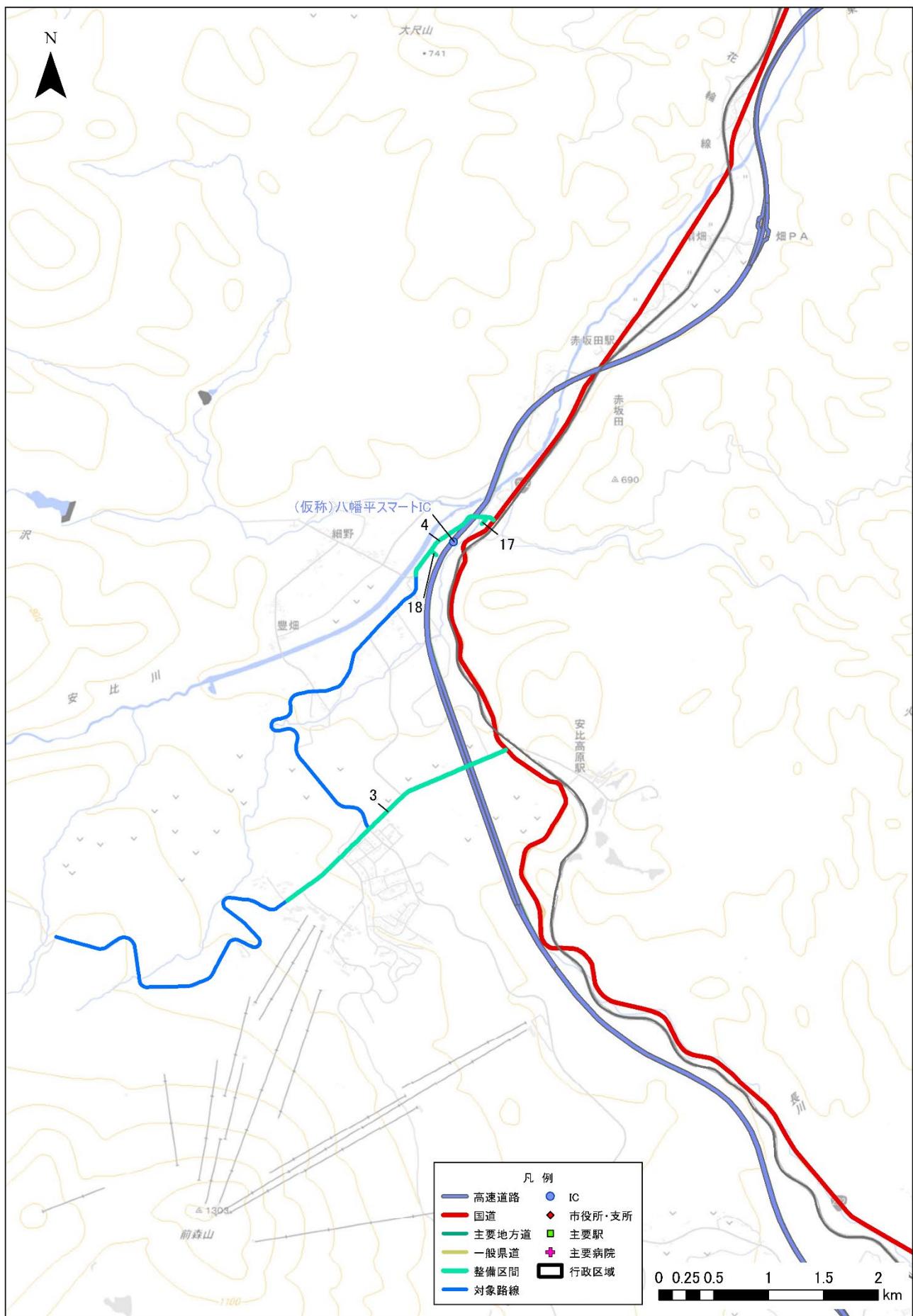


図 8-4 拡大図④ (松尾地区)

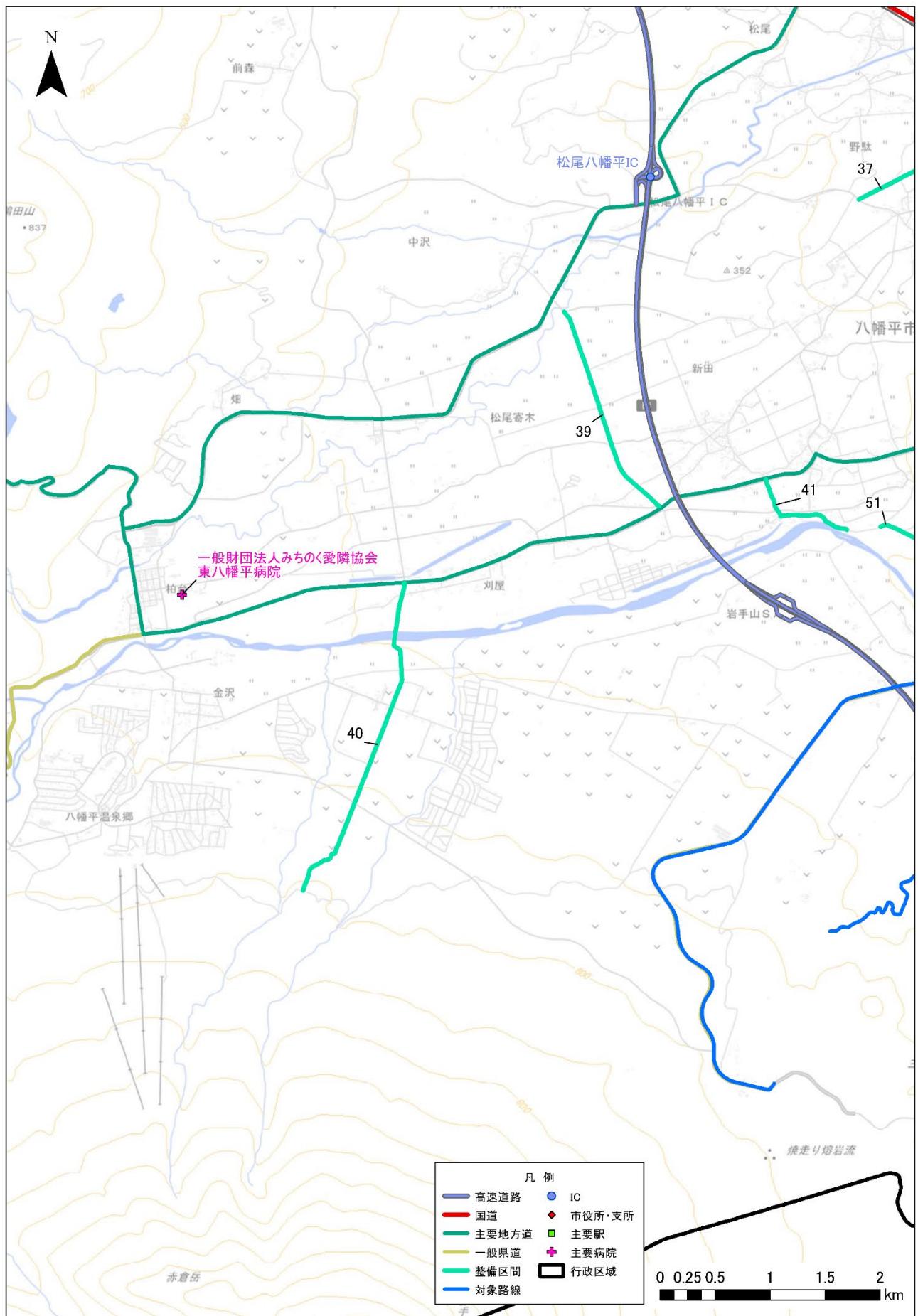


図 8-5 拡大図⑤ (松尾地区)

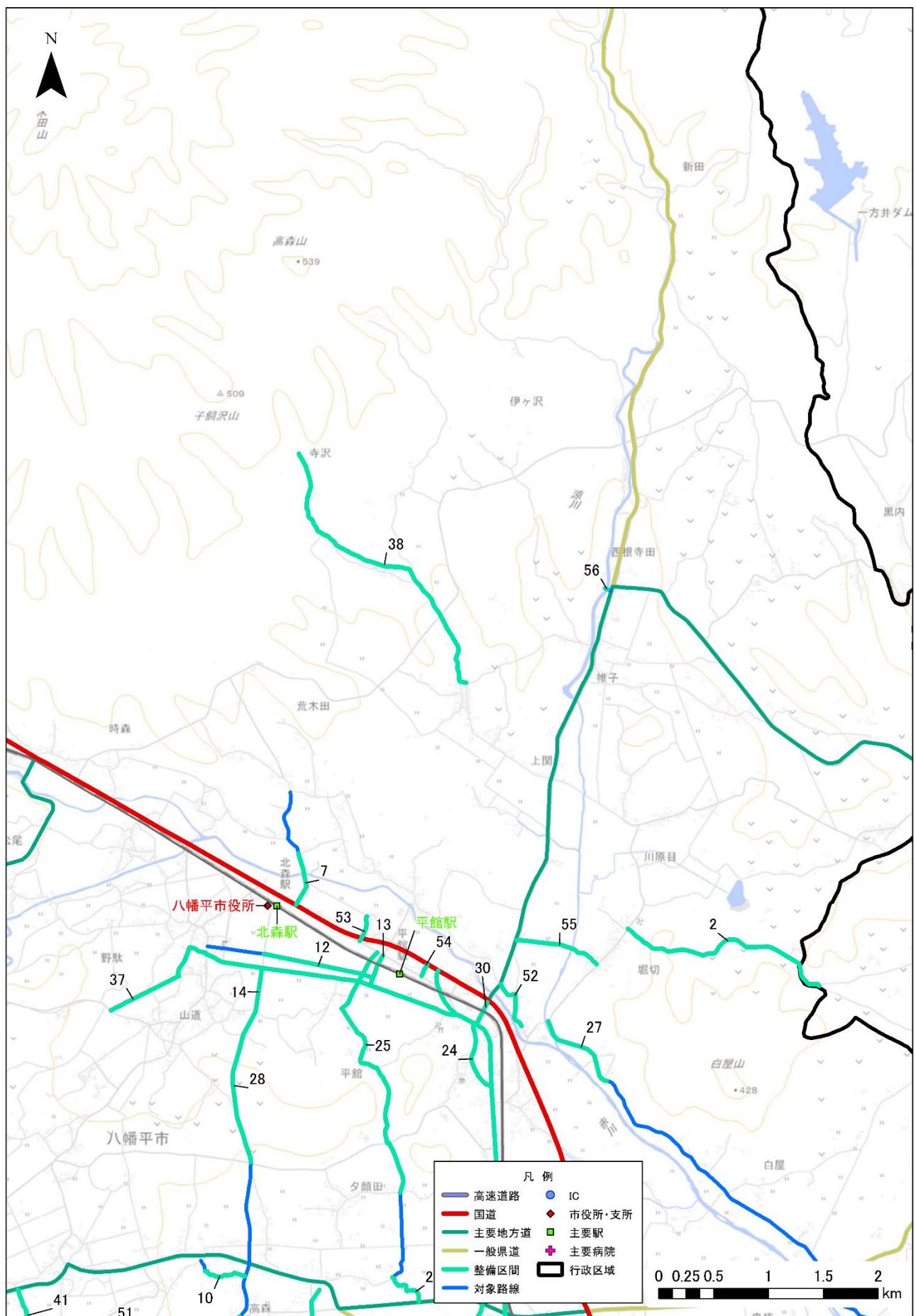


図 8-6 拡大図⑥ (西根地区)

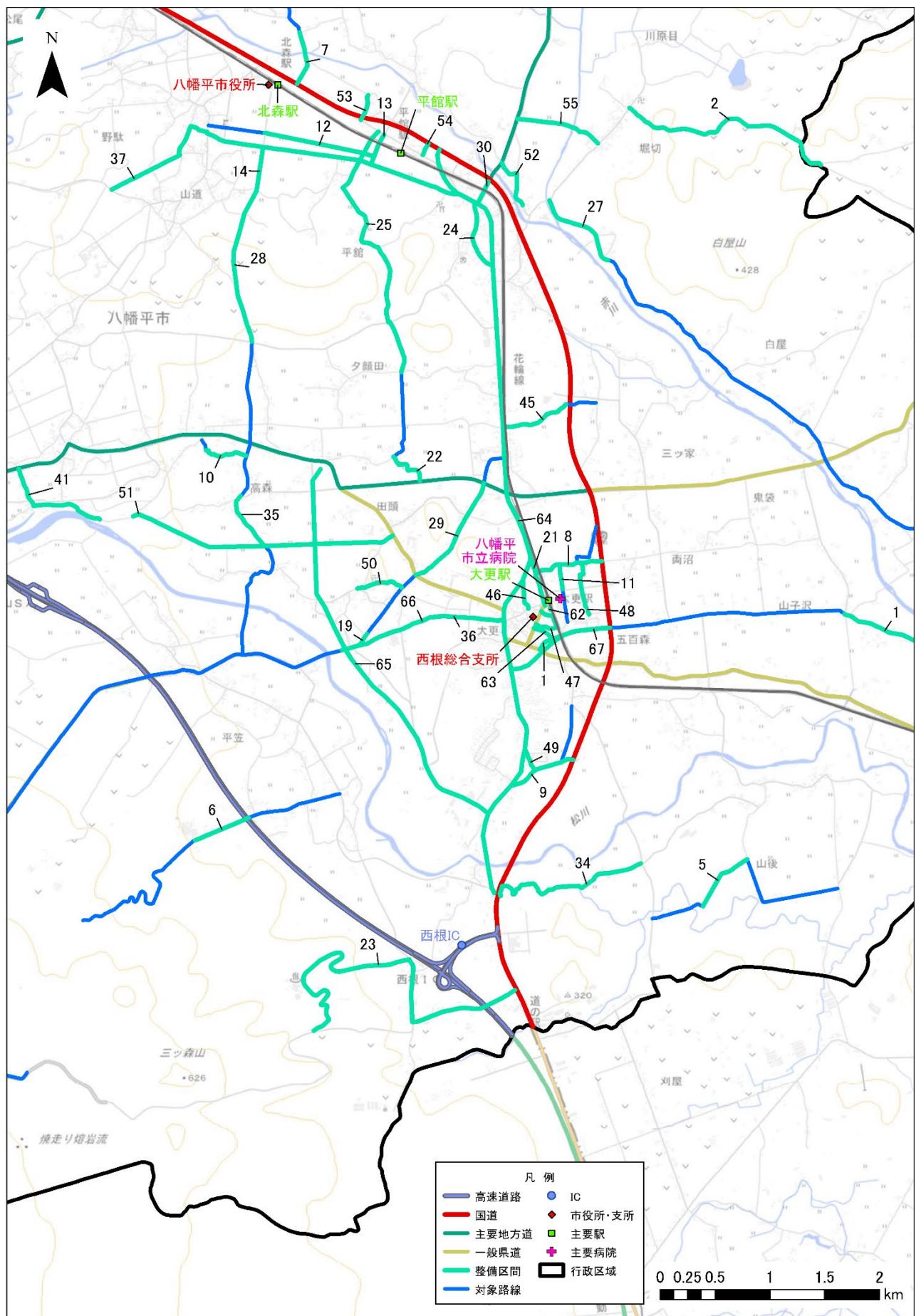


図 8-7 拡大図⑦ (西根地区)

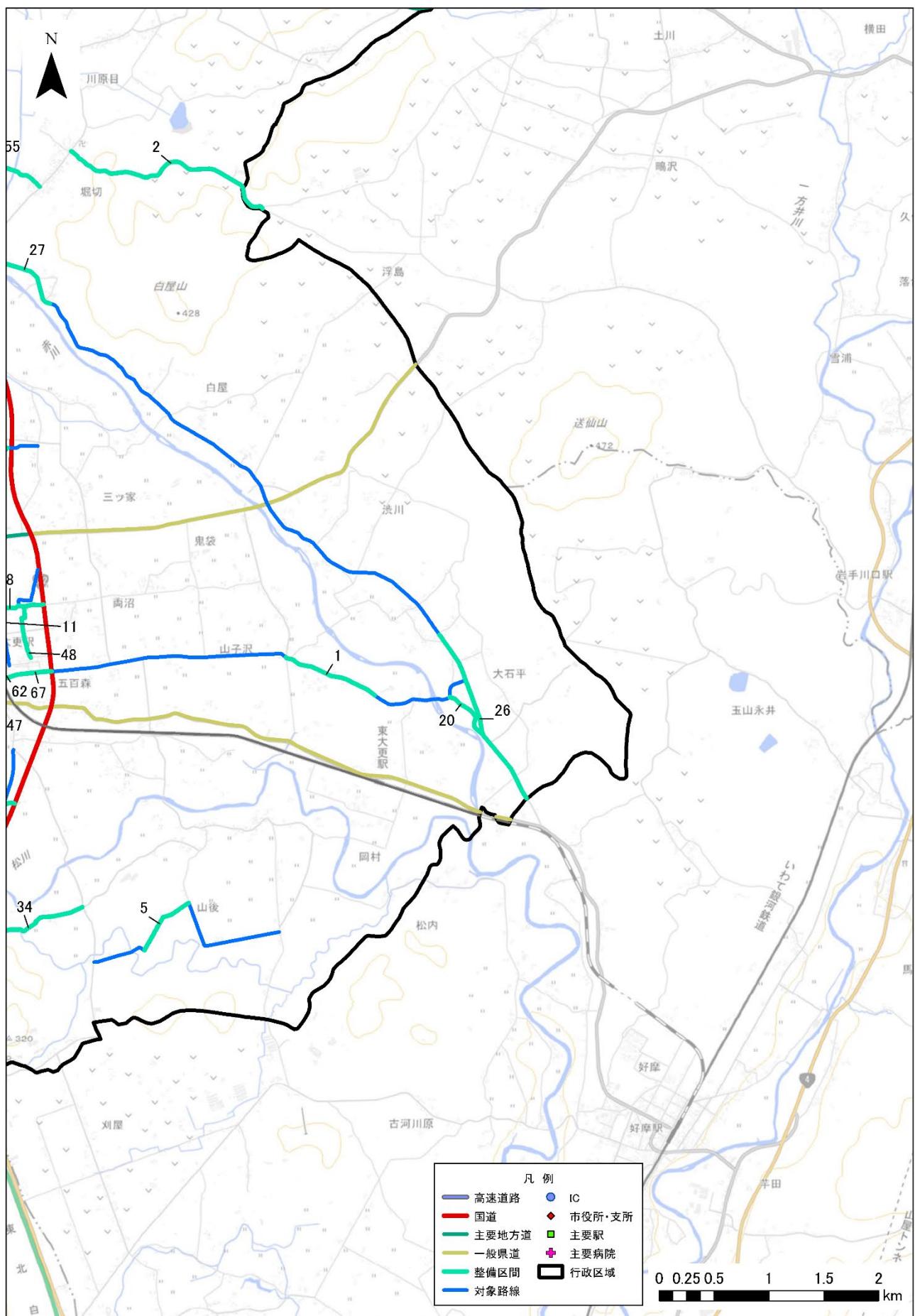


図 8-8 拡大図⑧ (西根地区)



八幡平市市民憲章

八幡平市は、岩手山・八幡平・安比高原の裾野に広がる大自然にめぐまれた農（みのり）と輝（ひかり）の大地です

わたくしたちは、心を一つにして、お互いの幸せを願い、ここに市民憲章を定めます

- 1、わたくしたちは、自然をはぐくみ、景観にすぐれたまちをつくります
- 1、わたくしたちは、心身をきたえ、活力にみちたまちをつくります
- 1、わたくしたちは、ふれあいを大切に、人情あふれるまちをつくります
- 1、わたくしたちは、共に学び働き、暮らしのゆたかなまちをつくります
- 1、わたくしたちは、限りない未来に向け、希望にもえるまちをつくります

八幡平市の「花」「鳥」「木」

		
花 「リンドウ」	鳥 「ヤマドリ」	木 「アカマツ」
リンドウ科の多年草で、青紫色の鐘形の花を咲かせ、八幡平市は品質・生産量とも日本一を誇る。海外への輸出も拡大し、躍進を続ける市を象徴するのにふさわしい花である。	日本固有のキジ科の留鳥で、まだら模様のある茶褐色の羽毛と筋模様の長い尾のある美しい鳥である。市内全域の山林に生息し、市民に馴染みの深い鳥である。	マツ科の常緑針葉高木で、本県産の代表的樹種である。市内いたるところに生育し、樹齢120年を超えるアカマツ天然林もあり、そのたくましさは伸びゆく市にふさわしい木である。

